

第 36 回情報・システム・利用・技術シンポジウム 研究集会  
「デザイン科学の展開」

デザイン科学に関する一連の小委員会の活動により、意匠デザインと工学デザインを含む建築デザインを科学的に研究する「デザイン科学」が建築研究の領域として定着しつつある。本研究集会では、建築のデザイン科学のための論理的手法、図式的手法、数理的手法などの様々なアプローチによる最新の研究を紹介し、今後の展望について議論する。

企画：デザイン科学教育方法研究小委員会

日時：2013年12月6日（金）9:00～11:35

会場：建築会館ホール

司会：大崎 純（広島大学）

1. 開会挨拶・主旨説明 9:00-9:05 藤井晴行（小委員会主査，東京工業大学）
2. 研究報告発表 9:05-10:20
  - 2.1 「最適化手法を用いた形態変化機構の設計」 9:05～9:20  
○大崎 純（広島大学），津田勢太（岡山県立大学），寒野善博（東京大学）
  - 2.2 「極小剛な Panel-Hinge グラフの列挙及び形態デザインへの応用」 9:20～9:35  
○小林祐貴（京都大学），加藤直樹（京都大学），瀧澤重志（大阪市立大学）
  - 2.3 「研究学園都市のプロシージャルモデリング」 9:35～9:50  
○渡辺 俊（筑波大学），北田春華（筑波大学）
  - 2.4 「スペースシンタックス理論による図書館の空間分析と CG 評価  
- ラーニングコモンズに対応したサイン計画を事例として -」 9:50～10:05  
○川角典弘（和歌山大学），菅原幹人（和歌山大学），東埜一輝（和歌山大学）
  - 2.4 「デザイン科学の教育方法について」 10:05～10:20  
○藤井晴行（東京工業大学），大崎 純（広島大学），渡辺 俊（筑波大学），  
位寄和久（熊本大学），長坂一郎（神戸大学）
3. 基調講演 10:20-10:50 「剛体折紙の形態創生」  
舘 知宏（東京大学）
4. パネルディスカッション 10:50-11:30 進行：大崎 純（小委員会幹事，広島大学）  
パネリスト：舘 知宏（東京大学），小林祐貴（京都大学），渡辺 俊（筑波大学），  
川角典弘（和歌山大学），藤井晴行（東京工業大学）
5. 閉会挨拶 11:30-11:35 渡辺 俊（小委員会委員，筑波大学）